

令和3年7月21日

人権教育だより④

人権感覚の涵養 ～他者の人格を尊重し、自己有用感の向上を図ろう～
江津工業高等学校 教頭

1 NIE活動「記事を読んで感想を書こう」を実施しています

新聞記事を読んで内容を理解し、内容に応じた自分の考えを伝える能力を育成することと、社会の様々な事象から自分の生き方を考えること等を目的として、年間に5回、朝礼の時間にNIE活動「記事を読んで感想を書こう」を実施しています。

1学期は「性的少数者LGBTQ」と「新型コロナウイルス感染症と誹謗中傷」に関する記事について活動を行いました。生徒の皆さんによって書かれた感想の一部を紹介します。

「性的少数者LGBTQ」に関する記事の活動より

今回のこの記事を読んで、世の中にはこの性的少数者という存在があるということに色々考えさせられるものがありました。他の人とは少し違い苦痛を感じている人がいる。そういう人たちともし自分が出会ったらどうするのか、人のことを考えこれから過ごしたいと思います。(原文のまま)

まず、性的少数者という言葉は聞いたことがあったが、LGBTQでQがあることは知らなかった。というようにいまだに僕自身の理解が全然足りてなかった。テレビでも取り上げることはあるが、ほんの少しの情報を知っただけで、知った気になっていたのだと思う。この記事の女性のように性的少数者に対し深い理解を示し、他人のために行動できる人間になりたい。(原文のまま)

「新型コロナウイルス感染症と誹謗中傷」に関する記事の活動より

誹謗中傷がなかったというのは今の時代にとってとても素晴らしいことだと思います。もし、自分がコロナに感染してしまったら、誹謗中傷されるのではないかと怖くなってしまおうと思います。ですが、「頑張ってる」や「応援している」というあたたかい言葉をかけてもらうと少しは怖さがなくなると思います。このような声かけが大事なんだなと思いました。どこの地域でも前もってこのような準備をしていたら良かったなと思いました。(原文のまま)

僕が、もし感染したらどんな声をかけるかと言うより、今までと変わらず声をかけて欲しいです。理由は、多分自分の事を心配もすると思うけど、周りの人達がどう思っているかが気になると思います。だから、今までどおり普通な感じで接してくれたら、受け入れてくれているのかと思います。(原文のまま)

活動に使用させていただいた記事

山陰中央新報

令和3年5月13日「明窓」

14日「明窓」



2 教職員研修より

過日受講させていただいた研修で、大切に感じた言葉を2つ紹介します。私も自戒をしながら日々の生活の中で意識するようにしています。

○子どもは大人をよく見ている。大人のふるまいが子どもに影響を与える。
○大人も学び続けなければならない。人権感覚は磨き続けないとすぐにさびる。